



のりまつ

校長 淵上 昇一

学校教育目標
心豊かで自ら学び、たくましく生きる子どもの育成
〈やさしく かしく たくましく〉

平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数, 理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

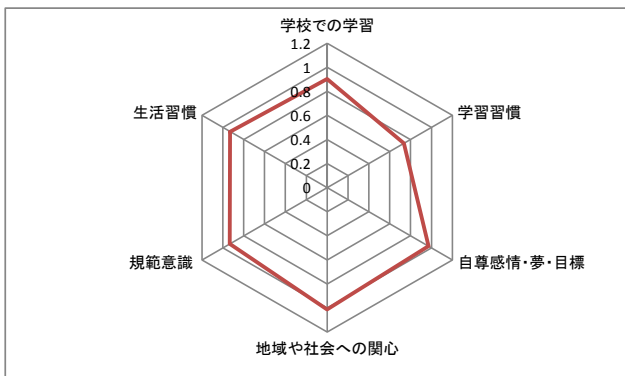
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

| 教科・区分 | 学力調査の分析(傾向や特徴) | 全国平均正答率との比較 |
|-------|--|-------------|
| 国語A | 全体的に全国平均正答率を下回っていた。話す聞く能力に関する問題はできていたが、書く能力に課題がある。 | 下回っている |
| 国語B | 全体的に全国平均正答率を下回っていた。記述式の問題の正答率が低かった。 | 下回っている |
| 算数A | 全体的に全国平均正答率を上回っていた。量と測定の問題の正答率が高かった。 | 上回っている |
| 算数B | 全体的に下回っていた。数量関係での問題の正答率が低かった。 | 下回っている |
| 理科 | 全体的に下回っていた。科学的な思考・表現の問題に課題がある。 | 下回っている |

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

学習中、「友達との話し合い」や「授業の振り返り」をよく行っていたと答える児童が多く、学校での学習に真面目に取り組んでいることが分かる。宿題を毎日する児童は多いが、自分で計画を立て1日当たり1時間以上勉強をしている児童は少ない。このようなことから、学校での学習態度は、向上しているが、学習習慣に課題があるといえる。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 全学年で、どの教科においても、友達とともに学び合う姿勢、特に、話し合う姿勢を今後も育てていく。
- 課題のある学習内容については、朝自習やチャレンジタイムの時間を使って継続的に取り組んでいく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 読書のおさや学習習慣の大切さを通信や懇談会で保護者にも発信する。
- 今後も家庭学習強化週間を設け、家庭と連携して家庭学習の定着を目指す。